

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 | 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 <small>グラデュエーション・ポリシー (GP)</small>	『生徒をどう育てるか』 <small>カリキュラム・ポリシー (CP)</small>	『どんな生徒を待っているか』 <small>アドミッション・ポリシー (AP)</small>
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 ・社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 ・人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 ・高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 ・目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることができ生徒 ・誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒

3 評価する領域・分野	教務部
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	アンケートにおいて、90%以上の生徒が「授業の教え方や説明が分かりやすい」「ICT機器を活用した授業が学習の理解につながっている」と回答していることから、授業において教科担任がタブレット等のICT機器を効果的に活用し、生徒の理解度の向上に努めていることが伺える。
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) タブレット等のICT機器の利活用の推進により、主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業の工夫・改善に取り組む。また、R-time(朝学習)により、基礎学力の定着を図る。 (2) 学習指導要領(平成30年告示)に対応した観点別評価についての研修および研究を実施する。 (3) 地元産業への理解を深め、効果的な地元企業等との連携について研究をする。
6 重点目標を達成するための校内組織体制	教務部会、各分掌、学年会、専門部会等との連携強化を図る。

7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標
<ol style="list-style-type: none"> (1) ICT機器、R-timeによる学習の定着 (2) 観点別評価についての教員研修および研究 (3) インターンシップの推進、地域連携、Web等による広報活動 	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各種アンケート結果。 (2) 学習等に関する調査アンケート結果、授業を通しての先生方からのご意見 (3) ホームページ等の更新数、各種の広報活動数及び地域連携事業数

9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<ol style="list-style-type: none"> (1) 授業研修週間において、他の教員の授業を参観することにより、指導法やICT機器の活用について共有を行った。 (2) 観点別評価についての研修および研究を実施した。 (3) 他の分掌や地元産学官と連携し、ホームページ等の広報活動の充実を図った。 	<ol style="list-style-type: none"> (1) ICT機器の利用度は高まっているか。 (2) 適切な評価が行われたか、生徒の学ぶ意欲の向上につながったか。 (3) ホームページ等の更新数、各種の広報活動数及び地域連携事業数 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>

12 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍が一段落し、体育祭や文化祭などの学校行事の開催に向けて、管理職や関係分掌と調整を行うことが出来た。 ○観点別評価について、教員向けの研修を実施し、統一した評価シートを使用するなど、スムーズに学習評価することができた。 ○授業研修週間において、他の教員の授業参観により指導方法やICTの活用、評価方法について校内研修を行うことができた。 ●授業におけるICT機器の利活用場面は多く、分かりやすい授業により学習の理解につながっているが、家庭学習における活用に利活用が低く課題が残る。 	総合評価 A (B) C D
----------	---	-------------------

13	来年度に向けての改善方策案 <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づいた学習評価の方法について、引き続き検証を行い、生徒の学習意欲の向上に
----	--

- つながる評価となるように努める。
- ・全学年が新学習指導要領に基づいた学習活動になることにより、教育課程（特に商業工業を跨いだ学び）の実践と効果の検証を行う。
- ・広報活動を来年度以降も積極的に行うために、校内の組織体制づくりを検討する。

II 学校関係者評価

実施年月日 1月29日（月）

【意見・要望・評価等】

- ・実施している内容を情報として発信すると市民へ伝わる。
- ・観点別評価についてもきめ細かい指導や助言が必要になってくるので、個に応じた対応をお願いしたい。
- ・少人数に分かれて個々を伸ばす授業がされている。